

「第1章 国際情勢と改定綱領の生命力」について

大会決議案が国際情勢から始まることが歓迎され、勇気と希望を広げているイスラエルによるガザ攻撃について——人道的停戦を求めた国連決議の意義改定綱領の生命力について①——逆流をどうとらえるか

「どんな国であれ霸権主義は許さない」と普遍的な規定にした意義

アメリカを「複眼でとらえる」——軍事的霸権主義とASEANへの関与改定綱領の生命力について②——世界の本流がさらに発展している

核兵器禁止条約、第二回締約国会議の大きな成果

日本共産党のASEAN訪問——東アジアに『対話の習慣』を広げよう

「第2章 自民党政治のゆきづまりと日本共産党的任務」について

自民党政を終わらせる国民的大運動を起こそう

金権腐敗政治の徹底究明・企業団体献金の全面禁止を

「失われた30年」を開き、暮らしに希望がもてる政治を

《消費税減税、税金はもうかつて大企業と富裕層に応分の負担を》

《介護大改悪を許すな！」「世代間対立」を打ち破る国民的な連帯を広げよう

《賃上げ・非正規ワーカーの待遇改善、労働組合はじめ幅広い連帯と共同を》

《気候危機打開と原発ゼロ、食料自給率の向上》

平和も暮らしも壊す大軍拡、「戦争する国づくり」を許さず、外交で平和をつくるう

《「安保3文書」から一年、「戦争する国づくり」の危険性があらわに》

《税金は大軍拡でなく国民の暮らしに使えの世論と運動を》

《辺野古新基地建設——政府の暴挙に断固抗議し、「オール沖縄」との連帯を訴える》

《ASEANの英知に学び、外交による平和の創造を》

《安保条約の廃棄を掲げる日本共産党的役割——「二重のとりくみ」を今こそ》

《人権後進国から先進国へ——ジェンダー平等を阻む勢力とのたたかい

「国民運動と統一戦線の発展のために」に関連して

市民と野党の共闘——再構築にむけて2つの力の前進・発展をめざして

自覺的民主勢力の強化——統一戦線の発展をめざして

総選挙での日本共産党的躍進に全力をあげる——国政選挙、中間地方選挙の方針

自民党政治に変わる、新しい政治をつくる最大の力は日本共産党的躍進
決議案を力に「二つの政治姿勢」を貫いてたたかう

「比例を軸に」をつらぬき、「650万、10%」の実現を

地方選挙で現有議席を確保し、着実に前進する

〔第三章 党建設——到達と今後の方針〕について

多数者革命を推進する強く大きな党を

多数者革命を進める主体は、主権者である国民

「国民の自覚と成長」は自然成長では進まない

不屈性と先見性を發揮して奮闘する党が不可欠

民主集中制の必要性・重要性は、多数者革命を推進する役割から導かれる

民主集中制の5つの柱は、党のたたかいのなかで築かれた

党指導部の選出——なぜ今の選出方法が最も合理的か

「大運動」と前大会以降の党づくりの到達点と教訓

党勢拡大の新しい目標と方針について

- 第30回党大会までに、第28回党大会現勢——27万人の党員・100万人の「しんぶん赤旗」読者を必ず回復・突破する。党員と「しんぶん赤旗」読者の第28回党大会時比「3割増」——35万人の党員、130万人の「赤旗」読者の実現を、2028年末までに達成する。
- 第28回党大会で掲げた青年・学生、労働者、30代～50代の党勢の倍加——この世代で10万の党をつくることを、党建設の中軸にすえ、2008年末までに達成する。1万人の青年・学生党員、数万の民青の建設を、2028年末までに実現する。そのためにすべての都道府県・地区・支部が、世代的継承の「5カ年計画」と第30回党大会までの目標を決め、やりとげる。
- 第28回党大会・第二決議で掲げた「空白の職場・地域・学園や、社会のさまざまな分野で活動する人たちのなかに党の支持をひろげ、党をつくる」「新入党員の成長が保障され、一人ひとりの初心、可能性が生きる党をつくる」「すべての党員が、党綱領と科学的社会主义を学習し、誇りと確信をもつて党を語れるようになる」という目標を堅持する。

4年間の活動の教訓と党建設の強化方向

すべての支部が「政策と計画」をもち、「車の両輪」の活動をすすめよう

「党員拡大・入党の働きかけの日常化」を全支部の運動に
世代的継承をどう「中軸」にするか

《党建設・党勢拡大の全体の活動と世代的継承のとりくみの関係について》

《青年・学生、労働者、真ん中世代の党勢倍加の方針は、全党によびかけたもの》

《青年・学生、現職労働者、真ん中世代自身が党をつくる力をもっている》

党の質的強化——政治的・思想的に強い党へ

《党生活確立の「三原則」を重視し、決定の読了と一大学習運動を》

《3つのスローガンで機関活動の強化を》

《ジェンダー平等、ハラスメントの根絶にさらなる努力を重ねる》

〔第四章 世界資本主義の矛盾と科学的社会主义〕について

“21世紀の日本共産党の「自由宣言」”——「三つの角度」から明らかに
資本主義批判こそ社会主義・共産主義の原点

「人間の自由で全面的な発展」——第一の角度の「自由」が条件をつくる
「自由のない社会」にならない保障を示す

「自由宣言」は若者に未来を語る大きな力になつてゐる

〔第五章 1世紀の歴史に学び、新たな1世紀に向かおう〕について

『日本共産党の百年』と2つの記念講演を学び、新たな歴史をつくる力に
第28回大会期の苦闘の中での成長を、新たな1世紀に向かう大きな糧に